



燃えて100年 世界に羽ばたく おおむた

大牟田市制  
100周年記念

# 全羅南道立国楽団 韓国伝統芸術公演

入場  
無料

公演日時

2017年9月3日(日)



開式: 12:30 / 開演: 13:00 (1時間30分公演)

場所

大牟田市文化会館 (小ホール)

tel 0944-55-3131

共催 大牟田市 / 在日-コリア 大牟田 公演主管 南道韓日文化親善市民NETWORK

後援  全羅南道 / 駐福岡韓国総領事館 / 福岡韓国教育院 / 在日韓国民団福岡県地方本部 /  SMC 韓国SMC空圧(株)



## 全羅南道立国楽団

全羅南道国楽団は、全羅南道伝統の歌謡・舞踊・器楽を継承することを目的に、1986年8月9日に結成された。現在、子ども国楽団を含め唱楽、器楽、舞踊、サムルノリなど約120人の団員で構成され、国指定の芸能保有者、伝授師範、技能履修者などが多数所属する国内最高の国楽団として知られている。これまで韓国内の主要都市をはじめ、海外巡回公演まで2000回を越える公演を開催。韓国の伝統芸術を広める広報使節団の役割も担っている。2006年からは毎週土曜の夕方に「土曜公演」を実施し、地域住民はもちろん、観光客からも好評を得ている。2012年にはオペラとパンソリのコラボレーション公演「パンペラ(パンソリ+オペラ)・李舜臣」、2013年には「家族唱劇・洪吉童」などを上演。全羅南道伝統公演芸術のブランドとしても、確固たる地位を築いている。

## プログラム解説

プログラム	時間(分)	解説
1. サムルノリ	10	四物(サムル)とは、もとは仏教で用いる木魚(モゴ)・雲版(ウンパン)・法鼓(ポプコ)・梵鐘(ポムジョン)であったが、後にサムルノリで使う楽器(ケンガリ・チン・チャング・プク)のことを意味するようになった。
2. 舞踊 ‘太平聖代’	7	独舞と群舞からなる創作舞踊。宮中衣装の華やぎと壮麗な気品があり、最も韓国的な優美に満ちた作品。精錬された振り付けで、中秋の豊かさと愁いなき世を願う。
3. チャングノリ	8	全羅道の農楽の一部を特別に編集した作品。華麗な巡回舞踊とチャングノリのリズムカルなテンポが絶妙に絡み合う。
4. 扇の舞	8	竹の地に牡丹の刺しゅうを施した素朴で風雅な扇を手に舞い、その姿は満開の蓮が波紋に沿って踊るよう。扇を開いてたたむ、流れるような花扇の動きで多彩な色彩と華やかな美を演出する。
5. 国楽室内楽 ‘黄土の道’	7	母の胸のように温かな郷愁を誘う「黄土の道」から楽想を得た作品。ドラマチックで爽快なメロディーに、切なくもシャープな奚琴の旋律が加わり、土の音と金属の音が対話し、交わりながら聞く者を包みこんでゆく。
6. 伝統舞踊 ‘月光情人’	7	雲かすむ夜に舞い降りた鶴は、桃源郷に向かう儒者(ソンビ)の視線。鶴に泰平の理想を託す志と、凡人として抱く恋心を儂い夢とする「月下情人」は、韓国伝統の鶴の舞踊、ハンリヤム、イプチュムの動きを存分に楽しめる作品である。
7. アリランメドレー	10	2012年にユネスコ世界遺産に登録された「アリラン」は、韓国人の哀歎と恨(ハン)の情緒がよく表れており、第2の国歌ともいわれる。今公演では地域ごとのアリランをメドレーで演奏します。
8. 伝統芸能祭り	23	農楽のパングッ(舞台の一種)ではじまり、美しい踊り手による小鼓舞踊、ソロでは小鼓ノリ、男寺党(ナムサダン)のボナトゥルギもある演戯(ヨニ=総合伝統芸能)の舞台。